2.26 PDA 横浜平沼高校・湘南高校・横浜緑ヶ丘高校・鎌倉高校・茅ヶ崎北陵高校 即興型英語ディベート　体験会

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2019 年 10 月 5 日（土）9:30-12:30
会場：神奈川県立相模原高校
参加者：生徒　24 名、教員　5 名
ジャッジ：PDA スタッフ、教員
成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

まず、横浜平沼高校の校長の鑪先生より、「今日の参加者のほとんどの人が初めての体験とのこと。ディベートのやり方を学んでいただき、17 校が参加する交流大会では相手の発言内容をきちんと聞き、頭を使って論理的に返せるようになってください」との挨拶の言葉をいただきました。

その後 PDA の団体説明と、代表理事中川先生（大阪府立大学・准教授）の紹介を、またなぜ今即興の英語で議論する力を鍛えることが重要かといったイントロダクションに続き、即興型英語ディベートの魅力、効用についての話がありました。

今回はほとんどの生徒が把握しているとのことでルール説明は簡単にし、大学生によるモデルディベートの内容を、生徒さんたちにフローシートを利用して流れを掴んでもらいました。その後、早速ディベート実践です。

１ラウンド実践後、ジャッジから勝敗とその理由、そして個人コメントのフィードバックがありました。ジャッジのフィードバックまでの間には、生徒同士でディベートについての意見交換をしていました。

続く２ラウンド目では、各テーブルジャッジからのアドバイスを参考に、論題に取りかかることができました。ジャッジからのフィードバック後、ジャッジへ積極的に質問をする生徒さんがいました。

今回の練習会は、持ち時間一杯いっぱいまで使う生徒さんが多く、一生懸命さと積極性が非常に感じられました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

・楽しかったです。お互いを認め合う雰囲気が良かったです。
・多くの人の話を利いて技を盗んで、大きな学びになったと思う。
・少し難しい場面もありましたが、それがまた刺激になりました。
・即興型ディベートは難しかったけど、普段練習できないようなものを練習できてよかったです。
・モチベーションをあげることができた。
・自分の考えが広がっていった。
・自分の課題点を見つかり、これからの英語の学習に活かせると思います。
・とても難しかったが、すごく頭を使ったことが楽しかった。
・難しかったけど議論することの楽しさやおもしろさが分かった。